

2016年10月14日  
株式会社 SBI 証券  
日本アイ・ビー・エム株式会社

## SBI 証券と日本 IBM、 ブロックチェーン技術を活用した 債券取引プラットフォームの実証実験を開始

IBM のコンサルティングサービスとアプリ開発支援サービス「IBM Garage」を通じて、  
ブロックチェーン技術を業務観点とシステム観点で評価

株式会社 SBI 証券は、FinTech 技術活用の一環として、日本アイ・ビー・エム株式会社と共同でブロックチェーン技術\*1を活用した新たな分散プラットフォームによる債券取引システム構築を目指し、その実現性や効果を検証するための実証実験を開始しました。この実証実験により、証券業務ブロックチェーンの早期商用化を目指していく予定です。

ブロックチェーン技術は近年、FinTech 分野の中でも特に注目を集めている技術分野であり、グローバルにも様々な金融機関や市場関係者による調査・研究が進められております。一方で実ビジネスへの適用に際しては、技術上、あるいは各国における法令諸規則上の課題も指摘されており、実務への適用に向けては更なる検証・改善が必要とされております。

本実証実験において、SBI 証券は、日本 IBM の金融ビジネスコンサルティングサービスおよび先進的アプリケーションの開発支援サービスである IBM® Bluemix Garage を通じて、ブロックチェーン技術を業務観点とシステム観点で評価します。これにより、債券業務に対するブロックチェーン技術の活用可能性の検証と業務利用における課題を抽出し、実ビジネスへの適用に向けた整理を進めます。具体的には、債券の登録から償還までの一連の商品サイクルの検証を通じ、データベースの共有による業務の効率化・自動化、共有インフラを通じた関係者間のインフラコスト削減の可能性、既存業務プロセスの代替可能性、ブロックチェーン技術の証券業務・システム面からの評価を検証します。また、多くのオープン技術を確立してきたオープンソース・コミュニティである Linux Foundation が提唱するハイパーレジャー (Hyperledger) プロジェクトが開発するブロックチェーン基盤でハイパーレジャーファブリックを使用し、プロトタイプを開発します。なお、このハイパーレジャーファブリックは、IBM クラウドの「IBM Bluemix」上のサービスとして提供されるものを利用します。

今回の実証実験で日本 IBM は、IBM 東京基礎研究所を含むグローバルの IBM リサーチとの連携や、金融機関を含むグローバルでの多数のお客様との検討実績等、グローバルのネットワークを活かしたサービスを提供していきます。

※1: 分散型台帳技術。取引記録や資産登録簿などのデータを分散型ネットワーク上の参加者にて安全に共有し管理する技術。低コストでのシステム構築・運用により革新的な業務改革が可能と考えられている。

以上

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、Bluemix は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp.の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> (US)をご覧ください。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

<金融商品取引法等に係る表示>

商号等 株式会社 SBI 証券 金融商品取引業者

登録番号 関東財務局長（金商）第 44 号

加入協会 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

<報道関係者お問合せ先>

SBI 証券 広報 緒方・毛利 Tel: 03-5562-7215（経営企画部）

日本 IBM 広報 小林 Tel: 050-3149-2095（直通）03-3808-5120（広報代表）

email : [KMAMORU@jp.ibm.com](mailto:KMAMORU@jp.ibm.com)

<お客様その他のお問い合わせ先>

ダイヤル IBM お客様相談センター フリーダイヤル: 0120-04-1992

<関連情報>

IBM ブロックチェーン

<http://www.ibm.com/industries/jp/ja/blockchain/>

IBM Garage

<http://www.ibm.com/cloud-computing/bluemix/garage/jp-ja/>